



生きるを、ともに、つくる。

公益社団法人 日本看護協会

2022年度 特定行為研修シンポジウム 2月15日(水) WEB開催(ライブ配信)

—院内から地域へ特定行為研修修了者の活躍を考える—

公益社団法人日本看護協会（会長・福井トシ子、会員77万人）は、2022年度特定行為研修シンポジウムを、2月15日（水）にWEB開催します。

特定行為に係る看護師の研修制度は2015年に開始され、指定研修機関319カ所（2022年3月現在）、修了者は4,832人（2022年3月現在）となりました。今回は「院内から地域へ特定行為研修修了者の活躍を考える」と題し、修了者の実際の活動から、本制度の普及・理解促進のために必要な情報や知識を共有します。

つきましては、ぜひご取材いただけますようお願い申し上げます。別紙の取材申込書①～⑥の項目をご記入の上、メールでお申し込みください。

◆開催概要◆

【日時】2月15日（水）14:30～16:30（ライブ配信）

※オンデマンド配信（2月24日（金）～3月10日（金））もご覧いただけます。

【開催形式】WEB開催（ライブ、オンデマンド）*URL、ID等を後日メールでご案内

【テーマ】院内から地域へ特定行為研修修了者の活躍を考える

【プログラム】

【開会挨拶】永井 良三氏（看護師の特定行為に係る指定研修機関連絡会 会長）
福井 トシ子（日本看護協会 会長）

【情報提供】「特定行為研修制度の現状と今後の方向性」

≪情報提供者≫後藤 友美氏

（厚生労働省 医政局看護課 看護サービス推進室）

【シンポジウム】≪座長≫ 神野 正博氏（社会医療法人財団董仙会 理事長）

木澤 晃代（日本看護協会 常任理事）

「特定行為研修修了者と共に地域を支える在宅診療の実際」

伊藤 守氏（いとうまもる診療所 院長）

「特定行為を活用した地域活動の実際と課題」

加藤 裕子氏（いとうまもる診療所 つながる訪問看護ステーション 所長
皮膚・排泄ケア特定認定看護師）

「専門性が発揮できる特定行為研修修了者の活躍への支援」

達家 好美氏（藤枝市立総合病院 副院長兼看護部長）

「研修の学びをいかしたチーム活動の実際と課題」

藤田 智和氏（藤枝市立総合病院 クリティカルケア特定認定看護師）

【意見交換】

日本看護協会 広報部 宛

(Eメール:koho@nurse.or.jp)

☆2月8日(水)までにご連絡をお願いします。

2022年度 特定行為研修シンポジウム

取材申込書

【開催方法】WEB開催（ライブ・オンデマンド）

【開催日】ライブ配信

2月15日（水）14:30～16:30

※オンデマンド配信：2月24日（金）～3月10日（金）

（ライブ配信と内容やIDは共通です）

①会社名	
②部署名	
③媒体名	
④お名前	
⑤TEL	
⑥Eメール※	

※WEB開催のため、必ずEメールアドレスをご記入ください。

※後日、URL等をEメールにてご案内させていただきます。